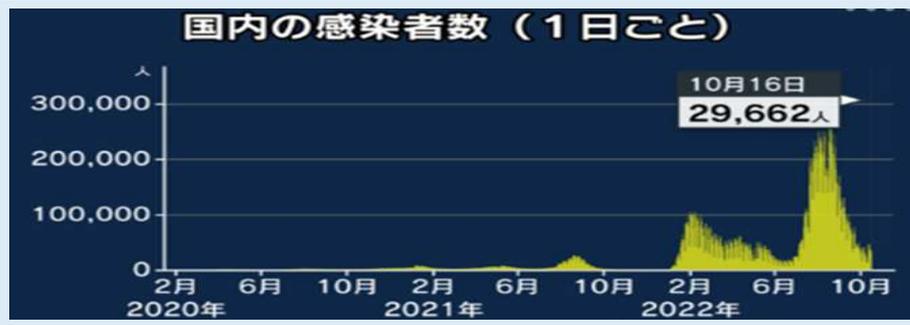


# 9月のTLG

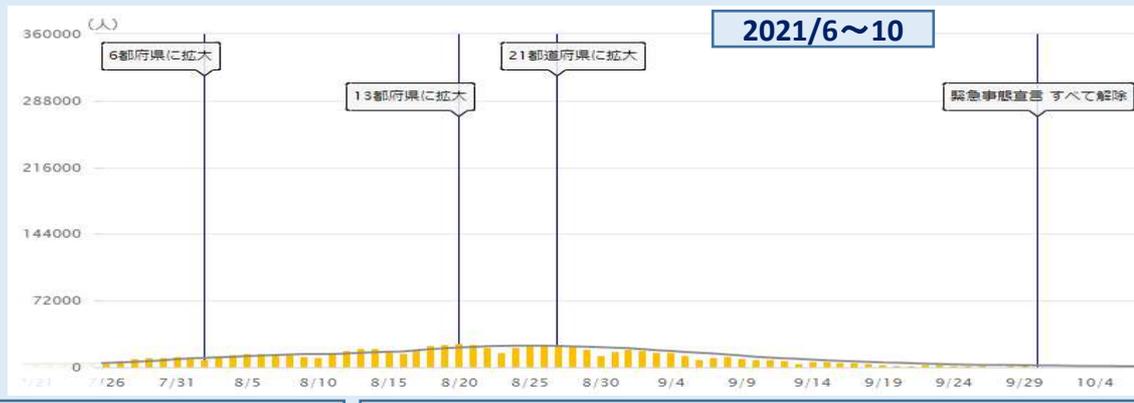
## コロナ関連 継続報告

第7波も次第に感染者数が減少傾向にあり、終息の兆しと思える状況ですが、今までの経緯を振り返ることで第8波を起こさない対応も分かってきます。



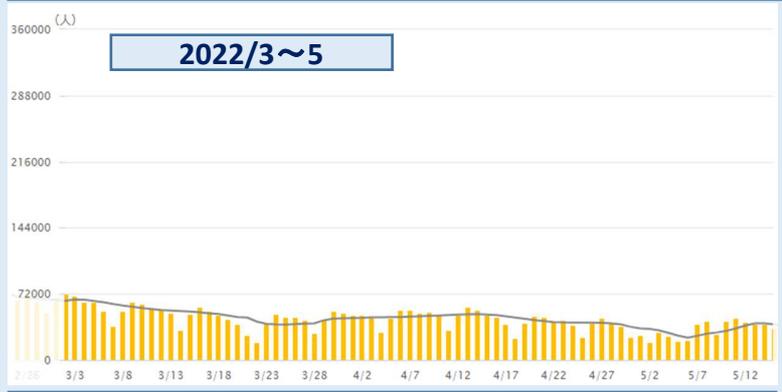
コロナ発生の2020年1月からの感染者推移。今回の第7波がいかに多くの感染者を発生させたかが分かります。詳細な感染者の推移をみるとわかりますが、8月19日には1日26万人の感染者で、現在は約1/10まで減りました

約1年前  
2021年9月には緊急事態宣言がすべて解除になり、このまま鎮静化することを期待しました。第6波にならないように、政府からはメッセージは出ていました。



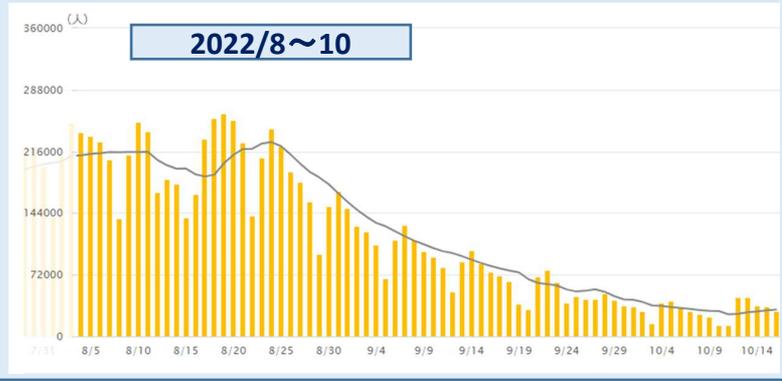
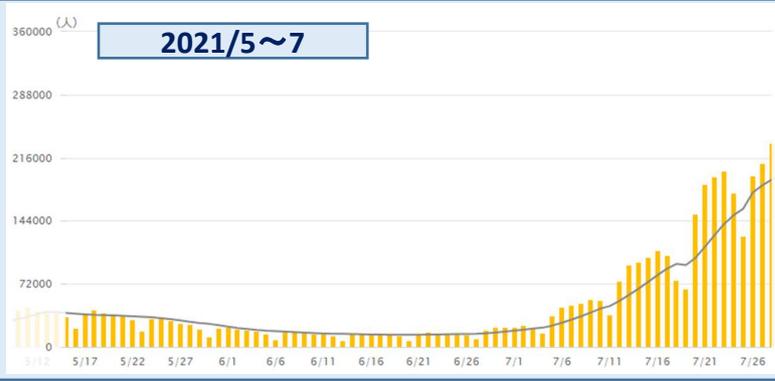
2022年1月後半から第6波が発生しました。年末年始の移動で全国的に感染が広がったようです。感染者数も1日10万人前後で推移しました。派生種のおミクロン株が広がりましたが、ワクチン接種の効果も見られた時期です。

5月の連休を含む今年の春は一見落ち着いているようですが、それでも収束に向かわず毎日5万人前後の感染者が発生し、ワクチン接種が急がれる状況でした。



春の連休明けは感染者数は幾分落ち着いてきましたが、7月に入り第7波が発生し一気に感染者が20万人を超える日が続きました。成田空港で厳しい検疫が始まり国外からの侵入を防ぐ処置がとられました。国内での艦船は凄まじいスピードで広がりました。

9月に入り感染者数は前週の数字を下回る状況になり感染も次第に落ち着いてきたような感じです。国外からの訪問規制も緩和されWith Corona政策が執られるようになってきました。国内外でワクチン接種が進んだ効果もあるようです。



当社においては、2021年7月から、社内でコロナ感染予防対策を行ってきました。毎週、抗原検査をして、陰性を確認のち業務開始する、3密を避けて、時差出勤やテレワークを取り入れるなどを行ってきました。また、全社員が積極的にワクチンの接種を受けるなど、早期に全員3回目の接種を完了しました。一方で家庭内感染も発生し、社員が感染することもありましたが、感染防止対策のおかげで会社内でのクラスター発生という事態は避けることができました。今回のコロナ感染は事業継続の観点からも今までのBCPのやり方に改善が必要という事を示しています。特にデータ管理の改善は急務で、DXでの業務対応がこれから重要という事が分かりました。

このCovid-19のパンデミックの2年半、私たちを取り巻く状況は大きく変わりました。自動車の生産が半減する、米中の貿易摩擦が経済戦争まで拡大する、ロシアの覇権的な政策が欧州の経済を揺るがす、コロナによる休業で港湾荷役業身が停滞し、コンテナの到着が3か月遅れになる、それに合わせて多くの航空便を必要とする、コンテナの価格が通常の4倍になる、原油やアルミ、銅といった生産に欠かせない原材料が3倍の価格に高騰など、これでもか、というような逆風の中私たちは次のステージに向けて進んでいかねばなりません。それを可能にするのは、改善と改革、そして挑戦するエネルギーです。私たちは今こそ、社員一丸となってこの困難に立ち向かいます。